

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	04	01	02	144050	健康教育相談事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		6,992	6,365		-627
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	1,030	940		-90
	地方債	1,400	600		-800
	その他	90	91		1
	一般財源	4,472	4,734		262

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標
健康に対する意識が高まっています

事業開始の背景・経緯
健康増進法に基づく市町村の責務であり、同時に市民の健康づくりを目的とする「健康はなまき21プラン」の推進のため開始

事業概要
生活習慣病予防対策 4,408千円 健康アップ講座、各種健康教育・健康相談、要注意者への個別指導 自殺予防対策 465千円 「こころの体温計」サイトの運用、ゲートキーパー養成講座等 健康づくりフロンティア 770千円 生活習慣病の早期発見と発症予防のため、大迫地域において各種検査等を実施 (事業の一部を帝京大学等に委託) 保健大学 722千円 適切な保健・医療情報の提供を目的に実施(事業の一部を花巻市医師会に委託)

担当部署	17300000 健康福祉部 健康づくり	担当課長	阿部 勇悦
------	----------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1
<p>1 生活習慣病予防対策 4,408千円 (1)健康アップ講座 (2)各種健康教育・健康相談 (3)要注意者個別指導 主経費:賃金(看護師等)1,358千円、需用費1,238千円、使用料及び賃借料(自動車)1,210千円</p> <p>2 自殺予防対策 465千円 (1)市自殺対策計画の推進 (2)ゲートキーパー養成講座 (3)ストレスチェックシステム「こころの体温計」の運用 (4)庁内における自殺予防推進会議 主経費:需用費(啓発用リーフレット等)258千円、委託料(こころの体温計)107千円、報償費100千円</p> <p>3 健康づくりフロンティア 770千円 生活習慣病の早期発見と発症予防を目的として実施。 [対象:外川目地区] 旧大迫町の健康課題対策として開始し、継続実施 主経費:賃金(看護師等)542千円、委託料(耐糖能検査)146千円</p> <p>4 保健大学 722千円 「適切な医療・保健情報」の提供を目的に実施 運営に係る調整等、事業の一部を花巻市医師会に委託 主経費:報償費288千円、需用費182千円、備品(パソコン)152千円</p>

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	04	01	02	144060	健康づくり推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		3,714	3,646		-68
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	3,714	3,646		-68

特定財源の内訳					
事業期間	単年度繰返	期間限定	~		

部重点施策における目標

健康に対する意識が高まっています。

事業開始の背景・経緯

健康づくり推進協議会：健康はなまき21プランに基づいた事業の協議等を目的に設置。
 保健推進委員：昭和48年頃から各市町で設置、2年毎に区長推薦者に市長が委嘱。
 血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」に基づき各市町で設置。
 献血推進協議会：「安全な

事業概要

健康づくり推進協議会 59千円
 委員とともに協議することにより、事業展開に市民の意見を反映する。

保健推進 2,937千円
 保健推進委員に対し、各種研修会を行うことにより、健康づくりの牽引役である保健推進委員自らの「健康づくり意識」が向上し、地域の意識啓発につなげる。

献血推進 650千円
 安定した血液供給を目的とする献血事業の遂行のため、献血推進協議会に補助する。

担当部署	17300000 健康福祉部 健康づくり	担当課長	阿部 勇悦
------	----------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1

- 健康づくり推進協議会 59千円
 関係機関、各団体の代表者及び一般公募の委員の参加のもと、健康づくり事業及び健康はなまき21プラン等各種計画の推進状況等の協議を実施
 主経費：報償費（委員謝礼）56千円
- 保健推進 2,937千円
 花巻市保健推進委員規則に基づき市長委嘱を受けた保健推進員に対し、各種研修会を開催（委嘱期間：平成30年4月～平成32年3月）
 保健推進委員数 361名
 主経費：報酬費（委員報酬）2,690千円、報償費（講師報償費）100千円
- 献血推進 650千円
 献血事業の推進と献血思想の普及のため、献血推進協議会へ補助を行う
 主経費：負担金（献血推進協議会補助金）650千円

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	04	01	02	144090	食生活改善推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		5,548	5,253		-295
財源 内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	5,548	5,253		-295

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	平成31年度	~	平成31年度
------	-------	------	--------	---	--------

部重点施策における目標

健康に対する意識が高まっています。

事業開始の背景・経緯

平成9年度栄養改善法改正により、栄養指導・相談が市へ移譲された。市民の健康を守り、よりよい食生活を推進するため食生活改善講習会を開催。また、平成10年国の通知に基づき、食生活改善推進員の養成、食生活改善推進員協議会事業の支援をしている。

事業概要

「食べて花まる」健康講座(食育講座) 437千円
生涯にわたる健康づくりを推進するため、望ましい食生活の知識と技術を普及啓発(37回)
栄養相談・指導 2,203千円
栄養指導員による食生活の正しい知識の普及啓発
食生活改善推進 2,613千円
研修養成した食生活改善推進員による生活習慣病予防に関する知識の普及
食生活改善推進員養成講座(32名) 5回
食生活改善推進員伝達講習会 173回
食生活改善推進員スキルアップ研修会 16回

担当部署	17300000 健康福祉部 健康づくり	担当課長	阿部勇悦
------	----------------------	------	------

意見・要望等の状況

--

事業手法の詳細1

「食べて花まる」健康講座(食育講座)により、講話および実習を行い、また、地域においては研修を受講した食生活改善推進員が、行政区毎に伝達講習会を行うことにより、市民に広く健康づくり意識の普及啓発を行う。(食生活改善推進員 1,114人)

- 「食べて花まる」健康講座(食育講座) 437千円
食育講座の開催を通じて、食育の普及、健康づくりの推進
作業員賃金 202千円、材料費 235千円
- 栄養相談・指導 2,203千円
栄養指導員を配置し、食生活全般に関わる知識の普及啓発
非常勤(1人) 報酬 1,910千円 共済費 293千円
- 食生活改善推進 2,613千円
食生活改善推進員を養成および育成し、地域に普及
推進員養成事業 5回、推進員スキルアップ研修会 16回、伝達講習会 173回
講習会報償費 1,414千円 講師報償費 84千円 消耗品費 442千円、材料費 673千円

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	04	01	02	144100	健康診査事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		155,127	172,231		17,104
財源内訳	国費	1,806	2,196		390
	県費	3,841	4,325		484
	地方債	0	0		0
	その他	14,834	15,991		1,157
	一般財源	134,646	149,719		15,073

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	平成31年度	~	平成31年度
------	-------	------	--------	---	--------

部重点施策における目標
健康に対する意識が高まっています。

事業開始の背景・経緯
がん検診の実施は、健康増進法の規定により市町村の努力義務とされ、平成10年度からは国の指針に基づき実施している。

事業概要
がん検診等を実施
胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診、前立腺がん検診
肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症予防健診を実施
・疾病を早期発見するため検診を行い、要精密検査者に受診勧奨を行い、早期治療につなげる
・女性特有のがん（子宮頸がん、乳がん検診）において、無料クーポン券による受診勧奨を実施する。
ピロリ菌検診を実施

担当部署	17300000 健康福祉部 健康づくり	担当課長	阿部勇悦
------	----------------------	------	------

意見・要望等の状況
がん検診受診率の低下の原因について議会で質問を受け、未受診者の分析と受診率向上が課題となっている。

事業手法の詳細1
がん検診等の実施（国では胃・肺・大腸・乳房・子宮頸がんを5大がん検診として推奨）は、市民のがんの早期発見・早期治療につながることから、花巻市民の健康寿命の延伸・医療費の削減に大きく関与するためがん検診事業の推進に努めている。

1 がん検診事業 168,389千円
うちがん検診等委託料は 144,028千円
内訳として、
胃がん 3,466千円（受診者6,383人）
大腸がん 17,176千円（受診者12,144人）
子宮頸がん 20,799千円（受診者3,963人）
乳がん 21,622千円（受診者4,436人）
肺がん 21,378千円（受診者11,559人）
喀痰検査 1,427千円（受診者547人）
骨粗しょう症検診 2,802千円（受診者1,292人）
肝炎ウイルス検診 3,725千円（受診者1,183人）
前立腺がん検診 9,501千円（受診者5,342人）
35歳健康診査 863千円（受診者108人）
生保健康診査 666千円（受診者58人）
ピロリ菌検診 6,885千円（受診者2,314人）
ピロリ菌関連業務 851千円
電算処理業務委託料 699千円
健康管理システム改修業務委託料 968千円

2 結核予防 3,842千円
65歳以上に結核健康診断を実施し、受診者11,685人で受診率は51.35%
受診者の内訳は結核検診受診者3,492人、65歳以上肺がん検診受診者8,193人
結核検診委託料 3,418千円
役務費 424千円（通信運搬費413千円、データ還元11千円）

財源内訳
補助事業
【新たなステージに入ったがん検診総合支援事業】 国 1/2
乳がん40歳・子宮頸がん20歳の検診無料クーポン 精密検査の未受診者への受診勧奨
個別の受診勧奨・再勧奨
【健康増進事業】 県 2/3
骨粗しょう症予防検診、肝炎ウイルス検査、生活保護世帯の健康診査

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	04	01	02	144110	歯科保健事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		9,869	9,758		-111
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	2,146	2,286		140
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	7,723	7,472		-251

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

健康に対する意識が高まっています。

事業開始の背景・経緯

健康増進法第19条の2に基づく市町村の事業として実施。平成23年8月には、歯科口腔保健の推進に関する法律が新たに施行され、市町村の事業強化が求められている。

事業概要

成人歯科健診、歯周病予防検診
 成人歯科健診（30、35歳）歯周病予防検診（40、50、60、70歳）
 訪問歯科診療
 寝たきりや障がい者等通院困難な市民を対象に歯科医師が自宅や病院等を訪問し診療
 歯科保健大会
 衛生教育・相談
 母子歯科健診 妊婦歯科健診、2歳児フッ化物塗布

担当部署	17300000 健康福祉部 健康づくり	担当課長	阿部 勇悦
------	----------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

- 歯科保健事業 9,758千円
- 成人歯科検診、歯周病予防検診 4,624千円
 - 成人歯科検診... 働き盛りの年代から口腔保健に関心を持ち、歯と口腔の衛生に努めるよう、30・35歳を対象に市内の歯科医院で歯科検診を行う。
 - 歯周病予防検診... 各年代を節目として、口腔保健の啓発のため、40、50、60、70歳の市民を対象に市内の歯科医院で歯科検診を行う
 - 11節（消耗品費、印刷製本費）750千円
 - 12節（通信運搬費）543千円
 - 13節（成人歯科検診、歯周病予防歯科検診等委託料） 3,331千円
 - 訪問歯科診療 558千円（対前年度比 増減なし）
 - 寝たきりや障害等で通院困難な市民を対象に歯科医師が自宅や施設等に出向き診療を行う。
 - 12節（保険料） 8千円
 - 13節（訪問歯科検診等委託料） 550千円
 - 歯科衛生教育・相談、歯科保健大会 2,857千円
 - 歯科保健大会（255千円）
 - 歯、口腔保健の大切さを啓発するため、8020達成者、良い歯の親子、図画、標語等の表彰講演会等を行う。
 - 7節（作業員賃金） 3千円
 - 11節（消耗品費、印刷製本費） 248千円
 - 12節（通信運搬費） 4千円
 - 衛生教育・相談（2,602千円）
 - 生涯を通じた適切な時期をとらえて、歯と口腔保健の知識の普及啓発や口腔ケアなどの衛生教育、相談等を実施する。
 - 1節（報酬）1,921千円
 - 4節（共済費）293千円
 - 8節（講師報償費）45千円
 - 11節（消耗品費、印刷製本費）330千円
 - 12節（役務費）1千円
 - 14節（会場借上料）12千円
 - 母子歯科健診等 1,719千円
 - 幼児のむし歯の発生を防止するため、2歳6か月から3歳の幼児に市内の歯科医院でフッ化物塗布を行う。また、妊婦の航空トラブルを予防し妊娠中の口腔衛生が図られるよう市内の歯科医院で妊婦歯科健診を行う。
 - 11節（印刷製本費）53千円
 - 13節（妊婦歯科健診・乳歯フッ化物塗布委託料）1,666千円

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	04	01	02	144150	保健センター整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	2,948		2,948
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	2,948		2,948

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	平成31年度	~	平成31年度
------	-------	------	--------	---	--------

部重点施策における目標

健康に対する意識が高まっています。

事業開始の背景・経緯

--	--	--	--	--	--

事業概要

施設調査等業務 2,948千円
施設調査
保全計画
躯体劣化調査

担当部署	17300000 健康福祉部 健康づくり	担当課長	阿部 勇悦
------	----------------------	------	-------

意見・要望等の状況

建築してから22年目に入り、設備の更新や改修が必要になった。

事業手法の詳細1

施設調査等業務
施設調査
保全計画
躯体劣化調査

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	04	01	03	144210	感染症予防対策事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		269,707	273,912		4,205
財源内訳	国費	648	4,405		3,757
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	3,077	2,975		-102
	一般財源	265,982	266,532		550

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	~		
------	-------	------	---	--	--

部重点施策における目標

健康に対する意識が高まっています。

事業開始の背景・経緯

予防接種法により感染症の発生やまん延を予防する。
「狂犬病予防法」により、犬の所有者は犬に狂犬病予防注射を毎年一回受けさせる義務がある。
接種率の向上と飼い主の利便性向上のため集合注射を実施している。

事業概要

定期予防接種
任意予防接種費用への助成
風しんの抗体検査及び風しん定期予防接種
狂犬病予防

担当部署	17300000 健康福祉部 健康づくり	担当課長	阿部 勇悦
------	----------------------	------	-------

意見・要望等の状況

ロタウイルスワクチンの接種費用助成について
H30年8月花巻市医師会より要望があった。H28年3月定例議会において質問があった。

事業手法の詳細1

感染症予防対策事業 273,912千円

- 定期予防接種 230,536千円
A類：ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、四種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ）
BCG、麻しん風しん混合、水痘、日本脳炎、二種混合（ジフテリア・破傷風）
子宮頸がん、
B類：高齢者インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌
(1) 予防接種委託料 220,187千円
(2) 事務費等 10,349千円（人件費、需用費、役務費、医師会事務委託費）
- 任意予防接種 接種費用の助成 28,994千円
(1) こどものインフルエンザ予防接種費用の助成 24,092千円
対象者：生後6か月から小学6年生
助成額：未就学児、小学生2人目以降、生活保護世帯は一人1回3,000円上限2回まで
小学生1人目は、1回1,000円上限2回まで
(2) ロタウイルス予防接種費用の助成 4,902千円（システム改修費含む）
対象者：平成31年4月生まれ以降の乳児
（1価=6週~24週まで、5価=6週~32週まで）
助成額：1価（ロタリックス）1回6,000円（生保12,000円）上限に2回まで
5価（ロタテック）1回4,000円（生保8,000円）上限に3回まで
- 風しんの抗体検査 8,757千円
対象者：S37.4.2~S54.4.1生まれの男性
(1) 作業員賃金 137千円
(2) 需用費 574千円
(3) 役務費 700千円
(4) 委託料 7,346千円（抗体検査、クーポン券送付状の印刷出力、システム改修）
- 風しん第5期定期予防接種（A類）2,763千円
対象者：抗体陰性の者
(1) 委託料 2,763千円
- 狂犬病予防業務 2,862千円
(1) 鑑札等交付事務 943千円
犬の登録申請の受理、鑑札または注射済票の交付、集合注射等のお知らせ、
鑑札・注射済票の交付業務委託 【委託先】花巻市狂犬病予防協議会
(2) 狂犬病予防注射事務 764千円
集合注射の開催（春、秋）
(3) 犬登録管理システムリース 1,155千円
H31.2~現システム導入（長期継続契約）
犬の登録情報の管理、集合注射案内はがき作成、各種検索を行う。

平成 31 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
国保	06	01	01	284010	国保制度健全運営事業(特定健康診査)

単位：千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		88,101	97,194		9,093
財 源 内 訳	国・県	31,765	26,310		5,455
	地方債				
	その他				
	一般財源	56,336	70,884		14,548

※特定財源の内訳

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

健康に対する意識が高まっています。

事業開始の背景・経緯

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、各保険者に平成20年度から特定健康診査及び特定保健指導が義務付けられた。

事業概要

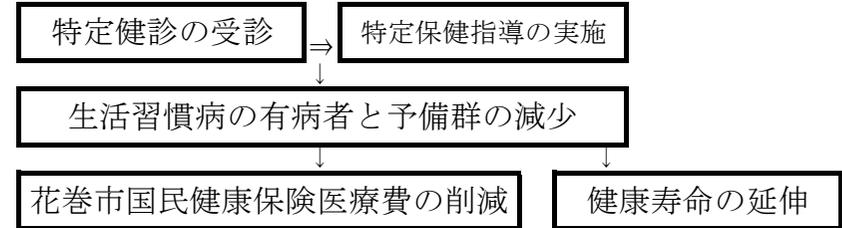
- 特定健診：4月～12月の108日間、保健センター・自治公民館等90会場で実施
基本的な健診項目：問診、身体計測、血液検査、尿検査
詳細な健診：心電図検査、眼底検査、貧血に血清クレアチニン検査の追加（第3期特定健康診査改正による。）
市では、制度改正前から全員に貧血検査、血清クレアチニンを実施。また、眼底検査を40歳～70歳までの5歳刻みの方に実施。
尿酸検査、推算糸球体濾過量（eGFR）、推定塩分摂取量測定を検査項目に取り入れている。
- 特定保健指導：特定健診の結果、生活習慣病の発症危険度に応じ「動機づけ支援」「積極的支援」に階層化し対象者を決定。初回面接から個々に応じた支援を実施し、3か月後に評価。
- 重症化予防対策：特定健診の結果、生活習慣病発症の要注意者に対し、早期の医療機関への受診勧奨や生活習慣改善の個別指導を実施。

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 健康福祉部 課名 健康づくり課 担当課長 阿部 勇悦

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



事業概要

高齢者の医療の確保に関する法律により実施する。
対象者：40歳から74歳までの国保加入者

① 特定健康診査 91,147千円

- うち委託料 ○特定健康診査業務委託料 78,893千円 受診者 7,713人 (受診率見込み54.0%)
第3期特定健診等改正に伴う詳細な健診項目の該当者を全員に拡大
心電図検査 H31 8,489千円 7,801人 (H30 2,431人)
眼底検査 H31 7,383千円 7,538人 (H30 3,315人)
- 電算処理業務委託料 2,774千円
H31年度特定健診受付システム改修 195千円
国保連データ管理料 1,834千円
特定健診集計業務 52千円
成人病検診電算処理業務 693千円

② 特定健診受診勧奨事業費 6,047千円

特定健康診査日程のポスターの掲示やカレンダーの配布を行い、個別の受診勧奨以外にも健診の普及に努めた。また、今年度から外部事業所に委託し、未受診者の受診勧奨通知の見直し（未受診者のタイプ別に合わせた効果的な勧奨等）に取り組み、受診者数の増加につながった。
特定健診受診率は60%以上を最終目標に、効果的な受診勧奨についてさらに検討し、受診の重要性と生活習慣病予防意識の普及・啓発を図ることが必要である。

- 需用費 (284千円) 特定健康診査日程ポスター 135千円
特定健康診査カレンダー 149千円
委託料 (5,763千円) 特定健康診査受診率向上事業委託 5,763千円

平成 31 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
国保	06	01	01	284020	国保制度健全運営事業(特定保健指導)

単位：千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		8,106	8,332		226
財源内訳	国・県	2,184	3,212		1,028
	地方債				
	その他				
	一般財源	5,922	5,120		△ 802

※特定財源の内訳

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

健康に対する意識が高まっています。

事業開始の背景・経緯

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき作成した「第2期花巻市国民健康保険特定健康診査等計画」にそって実施。また、平成26年度策定の「国保データヘルズ計画」に沿って、重症化防止及び適正受診対策に取り組み、医療費の適正化を図っていく（第3期の計画を現在策定中）

事業概要

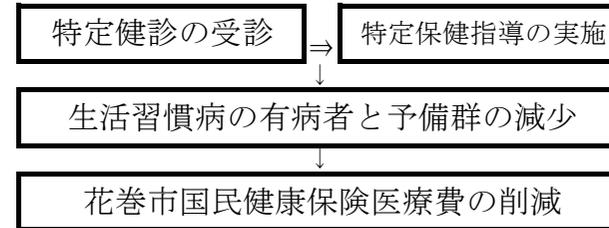
- 特定健診：4月～12月の108日間、保健センター・自治公民館等143会場で実施
基本的な健診項目：問診、身体計測、血液検査、尿検査
詳細な健診：心電図検査、眼底検査、貧血に血清クレアチニン検査の追加（第3期特定健康診査改正による。）
市では、制度改正前から全員に貧血検査、血清クレアチニンを実施。H31より、心電図・眼底検査を全員に実施している。
尿酸検査、推算糸球体濾過量（eGFR）、推定塩分摂取量測定を検査項目に取り入れている。
- 特定保健指導：特定健診の結果、生活習慣病の発症危険度に応じ「動機づけ支援」「積極的支援」に階層化し対象者を決定。初回面接から個々に応じた支援を実施し3か月後に評価。
- 重症化予防対策：特定健診の結果、生活習慣病発症の要注意者に対し、早期の医療機関への受診勧奨や生活習慣改善の個別指導を実施。

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 健康福祉部 課名 健康づくり課 担当課長 阿部 勇悦

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



特定保健指導 8,332千円

- ◆特定保健指導（内臓型肥満症候群）
健診の結果、メタボリックシンドローム及び予備群判定者に対し、生活習慣の見直し・改善に向けた個別指導を実施。
内容：面接、電話、文書等による個別支援
 - ◆重症化予防対策
特定健診の結果による要注意判定者に対し、早期の医療機関への受診勧奨や生活改善に向けた個別指導を実施。
内容：面接、電話、文書等による個別支援
 - ◆適正受診対策（重複受診、多受診者訪問）
レセプトデータによる重複・頻回受診など受療状況不適切者に対し、訪問等により適正受診に向けた個別指導を実施。
内容：面接、電話等による個別支援
- 主経費：報酬費、賃金、需用費（パンフレット）、役務費（支援レター） 等